

【支部総会報告】

兵庫支部

通信員 山西絢介(大3回生)

2020年2月15日(土)ホテルサンルートソプラ神戸にて2019年度近畿地区合同学友会、兵庫支部総会を開催いたしました。参加者は総勢43名でした。藤本隆平氏(大5回生)の司会進行のもと、神澤匡数支部長(短7回生)の挨拶から始まりました。

15時より座長の榎本亮介氏(短18回生)の進行にて学術講演会が行われました。まず、メーカーの情報提供として2社の方々に講演していただきました。日本メジフィジックス株式会社の大久弘嗣氏より「ビザミルのご紹介」と題して、アルツハイマー型認知症の診断におけるアミロイドPETについてご紹介いただきました。島津製作所の中嶋覚氏は「島津医用機器の最新動向—外来システムMERSYSシリーズご紹介—」と題して、受付から会計までをスムーズに済ませ、待ち時間の軽減など患者サービスの向上、また、多彩な機能による病院業務の効率化などMERSYSを導入する利点についてお話しいただきました。同じく島津製作所の王丹驊氏より「回診用X線撮影装置MX8」についてご紹介いただきました。

学術講演は神戸大学医学部附属病院の吉田隆人氏(大6回生)より「そのレントゲン“なんとなく”撮ってませんか？」と題して、運動機能解剖学の視点から手関節の正しいポジショニングで撮影することの重要性について解説いただきました。一般撮影に限らず基礎が大切だと再認識する講演でした。神鋼記念病院の三好進氏(58回生)より「リニアック更新と治療の話」と題して、リニアックを更新しても治療がすぐ始められないことの大変さについてお話しいただきました。臨床症例では肺門部がんの放射線治療について、また、放射線をがん組織に照射して治療すると、放射線の当たっていない遠方のがんも縮小するというアブスコパル効果について解説していただきました。

総会は藤本氏の司会にて行われ、神澤支部長の挨拶に続き、玉田彰学友会会長(53回生)よりご挨拶いただきました。引き続き、母校の近況報告を小山博氏(キャリア支援センター長)よりいただきました。

2018年度支部活動報告を神澤支部長、会計監査報告を廣島桜氏(大3回生)により行われ承認されました。

17時から村上智裕氏(大6回生)の司会にて懇親会が行われ、神澤支部長より本日3度目の挨拶のあと、5名の新人会員(大9回生)より自己紹介として所属、現在のモダリティ、特技についてお話しいただきました。前支部長の三好進氏の乾杯で開宴し、池和秀京都支部長(65回生)、新川秀和大阪支部長(63回生)、西関剛滋賀支部長(65回生)、岩井啓介奈良支部長(59回生)、協賛各社の方々からご挨拶をいただきました。最後に後藤正季氏(34回生)を筆頭に専門学校卒業の方々による恒例の校歌斉唱で盛り上がり、お開きとなりました。

最後になりましたが、ご参加いただきました来賓の皆様、会員の皆様、協賛企業各社の皆様、ありがとうございました。前回より新入会員を含め多くの方々にご参加いただくことができました。今回初めて会員の皆



様にアンケートをお配りし、今後の支部総会運営についてご参加いただいた皆様のご意見をお伺いしました。アンケートの結果を参考にし、多くの方に参加していただけるようにスタッフ一同努力して参ります。次回も皆様お誘いの上、ご参加お願い申し上げます。

以上